

質 問 回 答 書

2020 年 11 月 26 日

「ホンジュラス国社会経済開発人材育成のためのホンジュラス国立自治大学修士課程強化プロジェクト」

(公示日:2020 年 11 月 11 日/公示番号:20a00271)について、質問と回答は以下の通りです。

| 通番号 | 当該頁項目 | 質問 | 回答 |
|-----|---|--|--|
| 1 | P.10 1 プロポーザルに記載されるべき事項 (2)業務の実施方針等 | <p>コロナ禍の影響により、現地との人の往来が困難な状況が継続するだけでなく、C/P であるホンジュラス国立自治大学の財政や入学者状況も不確実となる可能性があり、2021 年度に取り組むべきとされるカリキュラム改訂などの実施作業について、望ましいタイミングを C/P と改めて協議することも考えられます。そうした柔軟性を残しておくことは、拙速に事を始めず、プロジェクトの効果を高めるためのオプションとしても重要であるかと思えます。</p> <p>そのように、2021 年度の実施作業のタイミング自体を流動的に想定することをプロポーザルにて明記することが、評価において不利に働くことはありませんでしょうか。</p> | <p>不利に働くことはありません。実施作業のタイミングについて幾つかのケースを想定の上プロポーザルに明記いただき、契約締結後にそれを踏まえて C/P と協議の上、1 カ月以内にワークプラン(案)を作成頂ければと存じます。</p> |
| 2 | P.10 1 プロポーザルに記載されるべき事項 (3)業務従事予定者の経験、能力 | <p>スペイン語の語学力について、語学試験の結果以外に、スペイン語で執筆した論文を参考資料として提出することは可能でしょうか。</p> | <p>論文のタイトルを CV に記載されるという理解で可能です。なお論文は語学資格などを評価のメインとして参考情報としての位置づけになります。</p> |

| | | | |
|---|-------------------------------------|--|-----------|
| 3 | P.20 (5)講義を通じた指導(5科目) | 日本側教員が C/P 教員とともに講義については、C/P の要望に従って 5 科目が指定されていると理解します。しかしながら、この 5 科目の中にはかなり特殊な専門性を必要とするものがあるため必ずしも日本側で有望な支援教員が見つかるとは限らない一方、5 科目以外でも有効な技術指導・技術支援を行うことができる可能性は大いにあるかと思われます。プロポーザル上、提供科目について 5 科目を念頭に置きつつも、改めて C/P と協議する可能性を残すことはできますでしょうか。 | 可能です。 |
| 4 | P.10 業務従事予定者の経験、能力 | 【業務主任者(業務主任者/高等教育)】に求められる語学能力は、スペイン語であり、本案件では英語の語学能力は評価項目に含まれないという理解でよろしいでしょうか？ | ご理解の通りです。 |
| 5 | P.21 (7) ベースライン調査およびエン ドライン調査 | 「ただし、実施が困難と認められる特段の事情がある場合には、プロジェクト開始後 6 カ月以内に実施する」とありますが、コロナ感染の状況が深刻になった場合など調査を実施することが困難な状況になった場合でもオンライン等なんらかの手段でプロジェクト開始後 6 カ月以内に実施しなければならぬという理解でよいでしょうか？ | ご理解の通りです。 |
| 6 | P.22 (11)本邦研修 | プロポーザル上で、本邦研修の受け入れ先機関の候補として貴機構を提案することは可能でしょうか？ | 可能です。 |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 7 | P.28 (5)日本の開発経験に関する教材の活用、遠隔講義実施を含め、教育・研究活動を強化 | 「またオンラインツールを活用した遠隔講義を実施する」とありますが、ホンジュラスと日本の間の時差を考えるとリアルタイムの遠隔授業は困難であると考えており、講義動画(オンデマンド)による遠隔講義も考えていますが、リアルタイムの遠隔授業の可能性も含めて遠隔講義を実施することを想定されておりますでしょうか？ | ご理解の通り、リアルタイムの遠隔授業の可能性も含めて遠隔講義を実施することを想定しております。現地で通常講義が実施される時間の17時～20時が、日本時間の8時～11時となりますので、リアルタイムの遠隔授業はさほど困難ではないと存じます。 |
| 8 | P.28 (6)実務関連経験 | 「行政機関、学術機関、第三セクターの協力の下、学生がインターシップ、プロジェクト形成、開発プロジェクトの視察、実務者による講義などの実務経験を積めるよう」とありますが、本活動は本邦研修で来日した期間に合わせて日本国内で実施するものか、またはホンジュラス国内で実施するものなのか確認させて頂きたくお願い申し上げます。 | ホンジュラス国内で実施することを想定しております。 |
| 9 | P.19 6. 実施方針及び留意事項 (4)学生修士研究/修了プロジェクトにかかる計画の進捗をモニタリング及び指導 | 「知識習得のみを目的とし学位取得を目指していない学生が一定数いることが確認されている」とあるが、この具体的な人数は在校生に対するアンケート等で把握されているか。またMCIGPD参加学生の具体的な目的や動機につき、何らかの調査がなされたことがあるか。その結果を公表頂けるか否か。 これらにつき具体的な調査結果が無い場合は、本提案において、上述の事項につき必要に応じて(例えばベースライン調査に)含めることは差し支えないでしょうか。 (同プログラムで修士号を取得した人数・割合は | 具体的な調査結果はありませんが、含めることに問題ありません。その数値を踏まえてC/Pと協議いただければと存じます。 |

| | | | |
|----|---|---|-----------|
| | | 本プロジェクトの成果を測る指標になり得ると考えるが、学位取得が前提でない学生の割合がある程度大きい場合、その数字に影響を与えられると思われるため。) | |
| 10 | P.28 7. 業務の内容【成果2に係る活動】(3)学生修士研究／修了プロジェクトを始動 | P19 の 6(4)と同様、こちらにも「知識習得のみを目的とし学位取得を必須としない学生が一定数いるが、修士号の取得率を上げるべく、初期段階から指導する」とあるが、学位取得に積極的でない学生も含め、修士号取得を促し指導を行っていく方針、ということになるでしょうか。 | ご理解の通りです。 |
| 11 | P.29 7. 業務の内容【成果3に係る活動】 | (1)日本の大学及び国際協力機関との交流講義(ワークショップ・セミナー等)に加え、(2)で「教員らが得た経験・知見をアカデミック・イベントで共有」とあります。この (2)の費用については、上述の(1)交流講義の定額(2,000 千円)には含まず、別途金額を算出し見積に含める、という理解で宜しいでしょうか。 | ご理解の通りです。 |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 12 | <p>p. 4 第1 企画競争の手続き 7. プロポーザル等の提出 (6) 見積書 2)c)</p> | <p>2020年7月付「新型コロナ感染拡大に関するコンサルタント等契約に係る JICA の対応方針について(FAQ 追補)」資料に、「現地再渡航に際して、PCR 検査陰性の証明書が必要となる場合は、現地渡航する業務従事者について1回当たり 70,000 円を上限として、直接経費の計上・精算を認めます。」という文言がございました。本件に関してもこれに則り、1回当たり上限 70,000 円として見積りに経費計上することは可能でしょうか。また、その場合は安全対策経費として別見積りへの計上という理解でよろしいでしょうか。</p> | <p>ご理解の通りです。</p> |
| 13 | <p>p. 4 第1 企画競争の手続き 7. プロポーザル等の提出 (6) 見積書 3)</p> | <p>定額で見積りに計上するよう指示のある、「交流講義(講義、ワークショップ、セミナー等)(国内研修費):2,000 千円」の費用につきまして、具体的には何を想定・計上しているか、内訳をご教示いただけますでしょうか。</p> <p>また、万が一「交流講義」に関し、貴機構が想定する費目以外に、必要と思われるものがある場合、別途計上することは可能でしょうか。その場合、本見積り・別見積りのどちらに入れるべきでしょうか。</p> | <p>「交流講義(講義、ワークショップ、セミナー等)(国内研修費):2,000 千円」につきましては、現地国内を想定しております。具体的には、講師への旅費や謝金等を想定しております。別途計上されたい費目がある場合、本見積りに入れるようお願い致します。</p> |
| 14 | <p>p. 10 第 2 プロポーザル作成に係る留意事項 1. プロポーザルに記載されるべ</p> | <p>当面の現地渡航が難しい場合、予定されているスケジュール感での新カリキュラム案の策定や承認取得が難しい場合もあるかと存じます。その場合、事業実施期間が延長されることも想定</p> | <p>現地業務を国内業務に振り替えることで事業実施期間内に完了させることをプロポーザル内でご検討いただきつつ、履行中の状況に応じて然るべきタイミングで協議させていただければと存じ</p> |

| | | | |
|----|--|--|--|
| | <p>き事項 (2) 業務の実施方針等 1) 業務の基本方針</p> | <p>されるように思われますが、本件の実施期間延長について、どのような方針をお持ちでしょうか。</p> | <p>ます。</p> |
| 15 | <p>p. 32 第4 業務実施上の条件 4. 相手国の便宜供与</p> | <p>R/D(p.2)より、「オフィススペース」が提供いただけることと理解いたしました。該当オフィススペースには、具体的にどのような設備(例 机、椅子等)が備えられているか、ご教示いただけますでしょうか。</p> <p>また、備えていないもので必要があると考えられるものがある場合、別途見積りに計上することは可能でしょうか。その場合、本見積り・別見積りのどちらに入れるべきでしょうか。</p> | <p>オフィススペースには、電気、水道、インターネット、机、椅子、プリンターがありますが、全て C/P や他部署との共用です。プロジェクト業務を円滑に進めるべく購入意思がありましたら、別見積りに入れていただければと存じます。</p> |